

あれから1年・・・

# 『春なのに』in 東京

‘ウィーンから故郷を想う’

## 2012年4月4日(水)

開演 19時 (開場 18時半)

### 千駄ヶ谷 津田ホール

入場料 一般 4,000円 (全自由席)

平野玲音ファンクラブ会員 3,500円

(100席限定・平野玲音ファンクラブ事務局のみ取り扱い)

#### 【出演】

菅野 祥子 (かんのしょうこ) メソソプラノ

平野 玲音 (ひらの れいね) チェロ

松岡 淳 (まつおか じゅん) ピアノ

#### 【曲目】

バッハ：無伴奏チェロ組曲第5番

ファリャ：7つのスペイン民謡

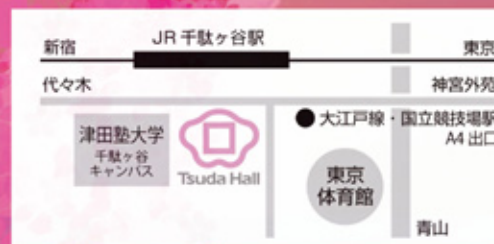
菅野祥子：春なのに 他

このコンサートの収益金は、東日本大震災で被災された方々への義援金とさせていただきます。

お問い合わせ・お申し込み

岩神六平事務所 TEL. 046-876-0712 <http://roppei.jp/>

平野玲音ファンクラブ事務局 TEL. 080-6552-2949 [reinefan@ezweb.ne.jp](mailto:reinefan@ezweb.ne.jp)



新宿 JR千駄ヶ谷駅 東京  
代々木 神宮外苑  
津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス Tsuda Hall ●大江戸線・国立競技場駅 A4出口  
東京体育館 青山

「一本松」写真提供：佐藤操 (陸前高田市)

協力：平野玲音ファンクラブ デザイン協力：アサヒ・エディグラフィ

## 菅野 祥子 Shoko Kanno (メゾソプラノ)



岩手県陸前高田市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、ウィーン大学に留学。音楽学を専攻する。声楽をオルガ・ワルラ・コロ、クルト・ヴィトマーの各氏に、リート・オトリオをワルター・モア氏に師事。チェコ・プラハ国立歌劇場で蝶々夫人のズキ役、カルメンのメルセデス役で出演。パリのユネスコ本部にて、サンクトペテルブルク建都300周年記念音楽祭に出演。ボスニア民族音楽祭にて日本の歌を披露する。オペレッタコンサートに常時出演、ウィーン・ベートーヴェン記念館にてジョイントリサイタル、リンツ市庁舎ホールコンサート、ローマオペラフェスティバル、ウィーン・ブリギッタ教区教会にてケニアへのチャリティーコンサートなどに出演。一昨年12月にはボスニア・バニャルカ市庁舎ホールでソロコンサートを開催。その模様はボスニア全土にテレビ・ラジオ放送され好評を得る。3月、パリ・トリニティ教会コンサートに出演。6月イギリス・ケンブリッジ大学内ホールでリサイタルを行う。毎年日本でリサイタルと、同時に小中学校や老人ホームにてミニコンサートを行うことが恒例となっている。またベートーヴェンの「第九」やモーツァルトの「レクイエム」のソリストを務める。友愛ドイツ歌曲コンクール学生部門第2位入賞。ルイージ・ストラメージ国際声楽コンクール(イタリア)のオペレッタ部門第2位入賞。現在、ウィーン少年合唱団のボイストレーナーを務める。

## 平野 玲音 Reine Hirano (チェロ)



©篠原栄治

9歳よりチェロを始める。山崎伸子女史、藤原真理女史に師事する傍ら、東京大学で美学芸術学を専攻し、表象文化論コース修士課程修了。02年よりウィーンに留学、ウィーン・フィルのG. イーペラー氏に師事。04年オーストリア国際室内楽フェスティバル「アレグロ・ヴィーヴォ」賞を受賞、ホルスト・エーベンハーの演奏は作曲家自身の賛辞を得、ラジオÖ1で全国放送される。05年国際夏期アカデミー「ブラハウィーン・ブダベスト」でアルティス賞ならびにジメンス・ウィーン古典派賞(弦楽四重奏第1位)を受賞。ソロ、室内楽で、ウィーンのコツェルトハウスを始めオーストリア各地で活躍し、一時帰国してNHK-FM「名曲リサイタル」、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、トッパンホール「ランチタイムコンサート」、シャネル・ピグマリオン・デイズ等に出演。2011年6月より、シリーズ公演「Reine pur」を開催。深みのある美しい音色と、ウィーン仕込みの自然な解釈が、聴き手を純粋な「音楽の享受」へと誘い出す。異色の経歴を活かし、作品の歴史的・文化的背景を汲み取ろうとする真摯な姿勢は、独自のストーリー性を持ったプログラミングにも表れている。CD「レイネ デビュー」、「赤いはりねずみ——ウィーンのブラームスと仲間たち」(TYL第7回サポート作品)をリリース。また冊子『百味』に、ウィーン音楽と食にまつわる軽妙なエッセイを連載、多才な一面をのぞかせている。ファンクラブ公式サイトは<http://reine-h.com/>

## 松岡 淳 Jun Matsuoka (ピアノ)



岩手県出身。東京藝術大学器楽科を経て、同大学院修士課程を修了。1993年より2年間、ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生としてハンガリー国立リスト音楽院に留学。国内外コンクール、オーディション等において受賞多数。1999年には邦人として初めて、ブラームス国際音楽コンクール、ピアノ部門に於いて第1位、及びベーゼンドルファー賞を受賞。新日本フィル、仙台フィル、名古屋フィル、ポーランド国立放送響、モルドヴァ国立フィル等国内外のオーケストラと共演。各地でのソロ・リサイタルのほか、ミクローシュ・ペレーニ(Vc.)、ジョセフ・リン(Vn.)、カテリーナ・ショット(Vn.)、アプリ・レビトン(Va.)との共演はどれも高い評価を受けた。2003年春には、キエフにて行われた《現代音楽際》に招聘され、《キエフ・ソロイスト》との共演を始めソロ、室内楽の演奏会を開催、絶賛を博した。これをきっかけに、毎年キエフに招かれ、ウクライナ国内各地、隣国モルドヴァの首都キシニョフなどにおいて、オーケストラとの共演、ソロ、室内楽等、さまざまな演奏会に出演している。現在までに、毛藤美代、渡辺健二、角野裕、I.ラントシュ、F.ラドシュ、C.キラーイの各氏にソロを、F.ラドシュ、D.シャーンドルの各氏に室内楽を師事。現在、昭和音楽大学、大学院及び同短大、昭和ピアノアートアカデミー非常勤講師。

桜咲く季節がまた訪れるこの年……



## CD「春なのに」

作詞・作曲・Vocal：菅野祥子

Vc：平野玲音

編曲・Pf：呉睿然

Recording：Wien, TONAL

ウィーンの友情の輪から生まれた美しいハーモニーをお楽しみ下さい。

好評発売中！ ￥1,000

(収益金は菅野さんの故郷陸前高田で被災された方々への義援金とさせていただきます)

【お問い合わせ・お申し込み】 平野玲音ファンクラブ事務局 080-6552-2949 [reinefan@ezweb.ne.jp](mailto:reinefan@ezweb.ne.jp)